

【中風】

烏頭湯（金匱要略）

麻黄三。○芍药三。○黄耆三。○甘草三。○烏頭一。○蜂蜜三。○

〔適應〕坐骨神経痛 腰椎分離症 椎間板ヘルニア 関節痛

ぎっくり腰 腰痛 屈伸できない 運動痛

古典の処方は【脚氣】にあり（五八五頁）

（医学入門・四卷上・雜病分類・風類・痛風）

如半身不遂、及左右手足蹠攣者、烏頭湯微汗之

（方輿輓・卷之十二・痺）

○是ハモト脚氣、疝氣ノ藥ナレドモ、入門ニ中風ニ仮用テアリ。ナル程至極發揮セルコト也。而シ今古方家ト云モノ、手足蹠攣スル症ナレバスグニ此方ヲ用テ、効モナキニ此方ニテ無理ニツツパリテ居ル人アリ。是ハ心得チガヒ也。余ガ用覚ハ、ソレゾレ其症ヲ弁ジテ用ルナリ。手足蹠攣ハ続命湯ニモアリ。続命ニハ蹠攣トハ云テナケレドモ、拘急不得転側ト云ガ即蹠攣也。故ニ一概ニ蹠攣アレバ此方ノ所之トハキメラレヌ也。

此方ト続命トハ相反シタル者ナリ。此方ノ目的ハ脈ニアリ。凡脈ノ緊ナル者ハ烏頭湯必効アル也。若脈浮大ナル者ハ、烏頭湯ヲ用テモ痛ガ反テツヨクナリテモ治スルコトナシ。診候ヲ審ニセヌ人ハ浮大ノ脈ニテモヤハリ烏頭湯ニテツツパリテ居ルモノ也。若又脈緊ナル者ニ続命湯ヲ用レバ、其人チリチリト脱シテ来テ、ツイニ功ヲ得ルコトナシ。此二方ノ脈ノ別ハ、余タシカニ仕覚タルコト也。此二方ノ脈ノ別ハ、之ハ知タルコトナレドモ世間ニテハ甚アラキ者ニテ、只続命ヲヤリテ見テ不治トキハ烏頭湯ヲヤリテミル也。スマヌコトナリ。又烏頭湯ヲヤリテ見テ、夫ニテ不治トキハ続命湯ヲヤルト云ハ世医ノ仕方ナリ。

○即金匱ノ麻黄ノ入ル烏頭湯ナリ。此方ハ疝ヨリ中風ニナリテ来ル者ニ用ユ。此症ハ多ク脈緊也。此ニ挙タル症、瓜蒂ト相似タリ。而レドモ其別アリ。痰喘ナリテ半身不遂ナド有ハ瓜蒂ヲ用テヨシ。若疝ノ様子アリテ半身不遂ナド有ハ烏頭湯ノユク処也。此方ハ何レ疝ノヤウスナケレバ

用テモ余リ面白カラヌコトナリ。

○半身不遂、偏枯、手足拘急ナドスルモノ、此方ヲ用テ発スルナリ。予考ルニ、大氏続命湯ノ方ト烏頭湯ト其症大ニ同クシテ、治法相表裏ス。参考シテ之ヲ用ベシ。

烏藥順氣散（太平惠民和剂局方）

麻黄三。○陳皮五。○烏藥五。○川芎二。○白姜蚕一。○枳殼三。○

白芷二。○甘草一。○桔梗三。○乾姜一。○生姜一。○大棗三。○

〔適應〕パーキンソン病 脳卒中後の片麻痺 言語障害 神経麻痺

顔面神経麻痺 五十肩 関節痛 麻痺 四肢疼痛 手足のしびれ

痙攣 ひきつり 半身不遂 中風

（太平惠民和剂局方・卷之一・諸風 附脚氣・続添諸局經驗秘方）

治男子婦人、一切風氣、攻疰四肢、骨節疼痛、遍身頑麻、頭目旋暈、及癱瘓、語言蹇澀、筋脈拘攣、又治脚氣、步履艱難、脚膝軟弱、婦人血風、老人冷氣、上攻胸臆、兩脇刺痛、心腹膨脹、吐瀉腸鳴

麻黄去根、節 陳皮去白 烏藥去木、各二兩 川芎 白僵蚕去絲嘴、炒

枳殼去穰、麩炒 白芷 甘草炒 桔梗各二兩 乾姜炮、半兩

右為細末、每服三錢、水一盞、姜錢三片、棗一枚、煎至七分、温服

如四時傷寒、增寒壯熱、頭痛、肢体倦怠、加葱白三寸、同煎併服、出汗差、如閃挫身体疼痛、温酒調服、遍身瘙痒、抓之成瘡、用薄荷三葉煎服、常服、疎風順氣、孕婦不可服

（万病回春・卷之二・中風）

○中風一身俱麻加人參、白朮、当帰、川芎、麦門冬 ○久患左癱右瘓、去麻黄、加天麻、防風、羌活、半夏、南星、木香、当帰 ○口眼喎斜加姜炒黄連、羌活、防風、荊芥、竹瀝、姜汁 ○遍身疼痛加当帰、官桂、乳香、没藥 ○臂痛加羌活、防風、薄桂、蒼朮、紫蘇 ○背心痛合行氣香蘇散加蒼朮、半夏、茯苓 ○脚膝浮腫加牛膝、独活、五加皮 ○腰痛加牛膝、杜仲、角茴 ○眼眩加細辛、細茶 ○四肢冷痺加附子、官桂 ○癱瘓二三年不能行者、合和独活奇生湯 ○婦人血風加防風、薄荷、荊芥 ○胸膈脹滿加

枳實、莪朮 ○虚汗去麻黄加黄芪 ○中風面目十指俱麻乃氣虚也。用補中益氣湯加木香、附子、羌活、防風、烏藥、麥門冬

(方彙口訣・中風)

此ノ方ハ世上普通ノ妙方ニシテ順氣劑ト云。此ノ順氣ヲ以テ方名ニシテ、第一氣ノ不循ヲ運ラスコトゾ。一体、人ノ一身ハ全ク氣力ノ循環ヲ以テ生長スルコトゾ。然ルニ運グル氣ノ傍徑ワキミチヘ翥ソレタリ、倚リタリスルト悪キ也。胸ヤ腹ヘ運ル可キ氣ガ肩ノミヘ倚ル。又肩ノミ運レバ背ハ凝ル、手ヘ運ラザレバ麻痺マヒテナラント云様ニ、運ル氣ガ運ラズ、俗ニ云ムラニ成テ来ル。此方コチラヘ運グルモノ彼方アチラヘ運ルト云ノ類、皆逆ニ成ル也。本筋ヲ運ラズシテ傍徑ヲ運ル様ニナル。本筋運ラント、攣レルノ痛ムノ痺レルノト、種々ノ容体ガ出来ル。皆氣ノ不順ナルノゾ。故ニ順氣トテ運ル可キ氣ノ本筋ヘ運グル様ニスル藥也。故ニ卒中ニ用ル藥デ無ク、先ヅ一旦ニ此ノ藥ヲ用テ徐々ソッソト後ノ藥ヲ用ルゾ。肩ノ痛ム、頸ノ強ル、腕ノ痛レ痛ルノモ、皆氣ノ滞リニ因ル。一切ノ風氣、四肢ヲ攻注シ、關節フシブシ痛ミ、手足癱瘓ゾニヤニナル、言葉ハ吃ル、語言ゴゴイ悪ルヒ、舌ノ摸通り悪クナル、筋々ハ攣ルト云時ニ、先ヅ氣方ノ藥ヲ用ル。風ヲ去リナガラ氣ヲ運ラス。烏藥、陳皮、殭蚕、専ラ氣ヲ循ラス。其ノ中、殭蚕ハ風氣ノ鬱滯ヲ能ク発スル物ゾ。其ノ余ノ藥ハ皆ナ風氣ヲ発散スル。夫故、氣鬱、氣滯、何ゾレ氣ノ循リ悪キニハ、之レヲ本方トシテ加減スルゾ。云ハ、順氣ノ首魁ウツカシナリ。先ヅ此処ニ在ル通り男婦ト云ヨリ至四肢ト云迄ガ一体ノ本病也。夫故本方ニテ氣道ヲ行ラシ、後ニ本病ノ風藥ヲ用ヒヨ。又、此ノ本文ニ理氣ト有ルノガ氣ノ行ル可キ筋ノ傍徑ヘ行グリテ往ク、其ノ氣ヲ取り立テ、本街道ヘ行ラス様ニスルコトゾ。道理ナリニ其ノ筋ヲ附ケル事也。俗ニ氣方ノ病ハ是ナリ。総ベテ中風ノ療治ノ当然ハ、氣ヲ治メテ後デ風ヲ治スルゾ。故ニ指当リ順氣ノ劑ハ是等ナリ。氣ヲ行ラス藥ハ外トへ行ラス、内へ行ラス、上へ行グル、下へ行グルト云様ニ、其筋ヲ附ケル処ガ上下内外ニ狂ウヒガ出来、平生ト間違ヒ、外へ出ル氣ガ内へ行ル、内ノ氣外へ溢レルノ類、順氣ハ総体其処ガ目的ゾ。故ニ、陳皮ヲ以テ胸ノ氣ヲ開キ、姜蚕ニテ肝木ノ鬱氣ヲ開ク。今痲症ニモ用ユ。乾姜、脾胃ノ陽氣

ヲ行ラシ、麻黄、表氣ノ鬱ヲ泄ラシ、川芎、白芷、血分ノ氣鬱ヲ発シ、桔梗、氣ヲ開キ、甘草、中焦ノ氣ヲ行ラシ、枳殼、腹内ノ氣ノ凝リヲ開ク。右ノ如ク、氣ヲ第一ニ循ラス藥ナレバ、早キ処デ用テ痰ノ収ル様ニス可シ。風ヲ治スル前ヘ方ニテ、氣ヲ運ラシテ置ク也。氣ノ鬱滯、氣ノ不循ニモ種々ノ諸症有リテ、此ノ次ノ加減ガ有ル也。悉ク氣ノ不循ヨリ発ル事ナレバ、氣ヲ瀉カス可キコトゾ。肩膊カクサウチカケノ麻痛スルモ、必竟ハ氣ノ不循リナルノ、此ノ上ヘニ方後ノ病症ガ添フコトゾ。本方ヲ用ル病人ニ次ノ症ガ添フ事ナレバ、此ノ加減モ入用也。一体ハ本方ノ俣ニテ好ケレドモ、夫デハ末々迄綿密ニ行届カザレバ此ノ加味ガ大切ゾ。此ノ方ニ限ラズ、総ベテ此ノ意味也。此ノ加減ノ事ヲ手近ク譬ヘテ見レバ食物ノアシライ会釈ノ如キモノニテ、鯛ノ吸物ウツホヲ潮ニスルト、其ノアシライガ其ノ客ノ様子次第ス第一座ノ主ニナル。其ノ場、其ノ時ノアシライ有リ。一体ノ本方ニハ坐スハリ有レドモ、席上ノ塩梅、酒客力下戸カ、食後カト見テ料理スル如キモノゾ。故ニ、後ノ方後ノ加減ハ、烏藥順氣散デ治スレドモ、夫レデハ細カク行キ届カザレバ也。夫レ故ニ合方ヤ兼劑ヲ用ユルハ即チ加減ノ大ナルノゾ。

中風一身俱麻云々 氣虚、血虚ヲ目的トシ、痰ヲ去リ、胃ヲ養フ。

久患左癱右瘓云々 是レハ虚症故ヘニ、風ヲ去リ痰ヲ取ル物ヲ加ヘル。本方ノ中ノ變ヲ取テ加ヘル。此ノ症、此ノ因ナレバ加ヘル。故ヘニ古人ノ例ヲ見テ今日加減ス可シ。減方ナル加減ハ悪ルヒ、本方ノ内ヘ加味スルノハ可笑ウツクシ喻ヘナレドモ、物見見物ノ時ニ近親チカツキアルト飛ビ入りモ出来ル、近力附キノ顔カホデ這入ル。当帰、川芎、天麻、姜蚕ノ類ナリ。

口眼云々 皆、風ヲ去ル物、熱ヲモ取ル。竹瀝、姜汁ハ痰ヲ取ル。

遍身云々 血ヲ行ラス物、此ノ加減ニテ病原ガ知レル。皆血分ノ滞リ也。

夫故ヘ、加減ニテ藥ノ功モ分カリ、病ノ本モ分カル。

臂痛云々 婦人ノ腕ヤ臂ノ痛ム類、氣分、氣鬱ニ因ル。此ノ加減ハ発表モ兼スルゾ。

背心痛、合行氣香蘇散云々 氣ノ滞ル上ニ外邪ト痰トアリ。故ニ背ノ真中ノ痛ムノ也。

脚膝浮腫云々 足ノ經ノ循ランノ、五加皮ハ是非用ユ可シ。今ノ医ハ一向用ンガ能ク功アリ。

腰痛云々 杜仲ハ肝ノ虚、角茴、腎ノ陽氣ヲ増ス。

眼眩云々 目旋ハ心ノ陽虚。細茶、俗ニ云、エヒ茶也。

四肢冷痺云々 全ク陽虚ナリ。

癱瘓云々 独活寄生湯ト合方シテ用ユ。肝腎ヲ補フ。

婦人血風云々 俗ニ云、ボロボロノ出来ルノ。血分ノ風氣ヲ發散ス。

胸膈脹滿云々 痰ト氣トノ滞リ。

虚汗云々 黄耆デ陽虚ヲ補フ。

中風、面目云々 是レハ氣虚也。故ニ氣ヲ循ラシ、陽氣増ス。是レハ分ニ在ル可キニ、補中益氣ハ是非此ノ痺レ類ニ用ユル故、此処ニ出シタ者ゾ。

一体ノ主意ガ氣滞ヲ目当トスルガ烏順ノ主意也。故ニ、氣虚ノ中症ニハ宜シカラザル也。

愚按ズルニ、方後加減ノ中ニ官桂アリ。御用ニスル桂枝ト云事ニテ、上品ノ物ヲ云。又、薄桂ハ薄皮ノ桂枝ナリ。角茴、茴香也。楮テ、以下諸方ノ後ニ加減アリ。逐一之レヲ積カズ。然レドモ、文字ノ誤脱、及藥品ノ珍奇ナル物ハ之レヲ注シテ、以テ初学ノ便リトナス。

(牛山方考・卷之中)

此方、男婦一切ノ風氣、四肢ニ攻、骨筋疼痛シ、遍身麻痺シ、手足癱瘓シ、言語蹇澁シ、筋脈拘攣スルノ症ヲ治スルノ妙劑也。

○加減ノ法。○中風一身俱ニ麻スルニ、人参、白朮、当歸、川芎、麥門冬ヲ加。○久患ニ右癱左癱ニ者ニ、麻黃ヲ去テ、天麻、防風、羌活、半夏、南星、木香、當歸ヲ加。○口眼喎斜スルニ、姜、棗、黃連、羌活、防風、荊芥、竹瀝、姜汁ヲ加。○遍身疼痛スルニ、當歸、肉桂、乳香、沒藥ヲ加。○臂痛ニハ、羌活、防風、薄桂、蒼朮、紫蘇ヲ加。○眼眩ニハ、細辛、細茶ヲ加。○胸膈脹滿ニハ、枳實、莪朮ヲ加。

一癱瘓二三年行歩シ難キニ、独活寄生湯ヲ合シテ有ニ奇効一。

一背心ノ痛甚キニハ、行氣香蘇散ヲ合シテ奇効アリ。蒼朮、厚朴、茯苓、半夏ヲ加テ尤モ妙ナリ。

一卒中風ノ急症ニハ、先ツ三生飲、天南星一兩、川烏頭、生附子各半兩、木香二錢、半夏ヲ加。氣弱キ者ニハ、人参ヲ加テ一二貼ヲ与テ元氣復

シ、痰消スルヲ待テ、烏藥順氣散ヲ与テ表氣ヲ順スベシ。有ニ奇効一。

一乳母、臂ヲ以テ児ノ枕トナシテ臂痛スルニ、風ニ因ニハ此湯ニ防風、木瓜、釣藤鈎ヲ加テ有ニ奇効一。

一劍術ヲ習フ人、或ハ筆耕ノ者、肩臂ツヨクツカフ人、ミナ肩臂痛ヲナスニ、羌活、木瓜ヲ加テ有ニ奇効一。

一張三錫、此方ヲ加減シテ風藥ヲ去、專ラ氣ヲ順シ、痰ヲ化シ、氣厥逆

スルヲ治ス。増減烏藥順氣散ト名付ク。烏藥、川芎、青皮、陳皮、莎

草、半夏、枳殼、桔梗、前胡各八分、姜棗ヲ加テ煎ジ服ス。啓益常ニ

中風ニ類シテ氣分惱マシキ者ヲ治スルニ、此方ヲ用テ取レ驗甚多シ。

一中風ノ急症、先ツ三生飲ヲ与テ痰退、元氣スコシ復セバ嚴用和ガ八味

順氣散ヲ与ヘテ五六貼ヲ服シテ後ニ、烏藥順氣散ヲ与テ表氣ヲ順スレ

バ奇効アリ。八味順氣散ノ方、白朮、茯苓、青皮、白芷、陳皮、烏藥、

人参各一匁、甘草五分、右水煎シ服ス。痰盛ナルニ、南星、木香ヲ加。

惣ジテ類中風ノ症、或ハ鬱病氣弱症、氣中ノ症、中風ニ似テ身冷ル者

ニ此湯ヲ用テ其効如レ神。

(方讀弁解・中部中ノ二・中風)

中風手足筋脈拘攣、或舌強リ言語スルコト能ハズ。崔氏小續命湯ヲ用ユ

ベキ症、桂附ヲ嫌フ者ニ此方ヲ与ベシ。方中ノ強蚕、痛ヲ柔グルノ意ア

リ。後世、此方差略シ、且麻黃ヲ去リ八味順氣散ト名ケ用ユ、大ニ非也。

其方蓋シ薛己ニ創レリ。又手足筋攣ナク但舌不仁、言語澁リ、痰アリ、

或人事ヲ省ミザル者、回春ノ撰生飲ヲ用ユ可シ。

※(方讀弁解・中部中ノ二・中風)

撰生飲 回春

治一切卒中、不論中風、中寒、中暑、中濕、及痰厥、氣厥之類、不省人事、初

作用此方

南星 木香 細辛 半夏 蒼朮 石菖蒲 甘草 生姜

一方蒼朮代白朮加竹瀝